授業科目名	美容総合（シャンプーブロー）		科目コード	1501015	
開講クラス	美容昼間課程専門科	コース		学　年	1，2年
担当教員	山内亜希子・川端夏代・花房友美・大田川一輝・井ノ久保優太・鬼丸真歩				
	実務経験教員（ 有 ・ 無 ） 実務経験内容 山内亜希子　美容師 平成 10 年　美容師免許取得 平成１５年　美容実習教員資格取得 川端夏代　美容師 平成 12 年　美容師免許取得 平成 16 年　美容実習教員資格取得 花房友美　美容師 平成 24 年　美容師免許取得 令和３年　美容実習教員資格取得 大田川一輝　美容師 平成 27 年　美容師免許取得 令和６年　美容実習教員資格取得 井ノ久保雄太 平成 24 年 美容師免許取得 平成 24 年～平成 30 年１月　美容室勤務（６年） 令和４年～　美容室経営（現在に至る） 鬼丸真歩　美容師 平成 25 年　美容師免許取得実務経験内容 平成 21 年４月～24 年３月美容室勤務（３年）				
開講時期	前期・後期・通年・特別講義・その他			授業コマ数	６０時間
	必　須 ・ 選　択 ・ 選択必須			単　位　数	２単位
使　用 テキスト１	書　名	美容技術理論１			
	著　者				
	出版社	社団法人　日本理美容教育センター			
使　用 テキスト２	書　名	美容実習１			
	著　者	社団法人　日本理容美容教育センター			
	出版社				
参考図書					
授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他（　　）				

＜授業の目的・目標＞ シャンプー技術は頭、毛髪、頭皮を扱う原点でもあるので、シャンプーにより頭の丸みや大きさ凹凸などを理解させ、また体全体を使い手をバランスよく動かせるように、積極的に練習する姿勢を身に付けさることを目的とする。
＜授業の概要・授業方針＞ シャンプーは良いアシスタント、スタイリストになるための第一歩になるという点を強調し、基本的な手順とシャンプー技術の習得を目指す。
＜成績基準・評価基準＞ 実技試験を行い、ご案内からお声かけ等お客様への接客、シャンプーブロー技術、基本ができているかの確認を行う。 結果により優（８０点以上）良（７０～８０点）可（６０～７０点）で評価５９点以下は追試
＜使用問題集・注意事項＞ なし
＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞ なし

授業科目名	美容総合（シャンプーブロー）	
回	授　業　内　容	備　考
1	サイドシャンプー技術のプロセス、手順（講義）	P4
2	お客様のご案内からシャンプークロスの付け方（実習）	
3,4	ブラッシングの目的、ブラッシング実践（実習）	
5～10	プレーンリンス～ファーストシャンプー～すすぎ～タオルターバンを相モデルで実践（実習）	
11～13	プレーンリンス～ファーストシャンプー～すすぎ～タオルターバンを相モデルで実践（実習）タイム計測２０分	
14～16	プレーンリンス～ファーストシャンプー～すすぎ～タオルターバンを相モデルで実践（実習）タイム計測１５分	
17～19	プレーンリンス～ファーストシャンプー～セカンドシャンプー～すすぎ～タオルターバンを相モデルで実践（実習）　タイム計測２０分	
18～20	プレーンリンス～ファーストシャンプー～セカンドシャンプー～すすぎ～タオルターバンを相モデルで実践（実習）　タイム計測２０分	
21	バックシャンプーイングの目的・マッサージ技術のプロセス（講	

	義）	
22～27	プレーンリンス～ファーストシャンプー～すすぎ～タオルターバンを相モデルで実践（実習）	
28～30	プレーンリンス～ファーストシャンプー～セカンドシャンプー～すすぎ～タオルターバンを相モデルで実践（実習）タイム計測２０分	
31～34	ハンドドライ手技	
35～36	ハンドブロー手技	
37～43	デンマンブロー手技を相モデルで実践	
44～50	ロールブラシブロー手技を相モデルで実践	
51	ヘッドスパにおける頭部・頸部・肩周りの指圧部位と効果について	
52～55	ヘッドスパ手技（プレマッサージ～スパシャンプー～アフターマッサージ）	
56～60	実技試験 プレーンリンス～ファーストシャンプー～セカンドシャンプー～すすぎ～タオルターバン～ハンドドライ～ブロー	